

自動車部品製造技術を航空機部品製造にも応用 (享栄エンジニアリング 株式会社)

会社概要(平成24年10月現在)

- 所在地:岡山県総社市久代1785-2
- 代表者:本多 美奈子
- 資本金:9,170万円
- 売上高:23億円
- 従業員数:80名
- URL:<http://www.kyoei-eng-co.jp>

①事業概要

<自動車関連・航空機関連製造設備等製造>

享栄エンジニアリング株式会社は、岡山県に本社を構える「自動車」、「航空機」、「治具」、「産業機械」の製造設備総合システムメーカーである。独自技術の研究開発と自動車製造設備製作で培った実績には外部から高い評価を受けている。主な取引先は、日本国内大手自動車メーカーである。現在では、自動車関連製造設備・治具製造から航空機関連設備までの設計、製作を手がける。国内では岡山、九州、名古屋、海外ではフィリピン、中国、インドネシア等のグローバルネットワークを通じて独自技術の開発を行っている。

②海外展開概要

<中国、東南アジアにおける合弁会社の設立>

同社は、平成9年にフィリピンVPMI社との共同出資により合弁会社、Kyoei Kogyo (Phils.) Corp. (KPC)を設立、その後、平成16年に中国・上海の上海曉奥機電裝備製造有限公司との合弁事業を開始。平成19年にはフィリピンVPMI社との共同出資により、エンジニアリング会社であるKyoei Philippines Technology Inc. (KP-TEC)を設立。

同社がフィリピンへ進出した背景は、①ものづくりの会社として海外の人材を活用し、コスト削減と効率化を図る、②現地には自動車の生産設備を造る会社が無く、現地からの要請が大きかった、③自動車製造のためには高い技術力が必要で、主要顧客である三菱自動車工業株式会社向けに現地で製造設備及び自動車部品を供給する製造拠点が必要とされていた等であった。

③取組の重点(活用した支援策を含む)

フィリピン海外子会社での設計力強化のため、「設計者30名体制」に向けて、技術者を育成するため、平成10年度以降AOTS(現HIDA)研修制度を利用し現地技術者を育成。これまでに延べ46名が同制度にて来日し技術を習得。研修生は帰国後、5S改善活動の導入や、リーダーとしてTPS活動を推進するなど、各工場の所属部署にて中核人材として活躍している。日本で研修した設計技術を活かして関連企業へも設計作業の指導に出向くこともあるなど、所属企業の枠を超えた活躍をしている。

④今後の事業展開について

コア事業である創業事業のヘミングプレスという180度折り返す曲げ加工用プレス機(自動車のドアやボンネット等の縁を曲げる工程で使用)をはじめ、主製品である自動車の生産設備や自動化機械の製造を積極展開する一方、自動車の製造方式を航空機に応用するとともに、航空機の軽量技術を自動車に応用するなどシナジー効果を追求し、3年後には航空機関連の売上を現在の10%から20%へ拡大する方針。



▲自動車のシャーシ製造工程



▲日本から持ち帰った5S看板



◀TPS活動の取り組み
～カンバン～

(平成24年10月現在)

データ出所:(財)海外産業人材育成協会(HIDA)